

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大久保町田原計画	階数	地上15階
建設地	京都府宇治市大久保町田原32番1	構造	RC造
用途地域	工業地域、法22条地域	平均居住人員	584人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年10月 予定	評価の実施日	2012年9月25日
敷地面積	6,599 m ²	作成者	
建築面積	1,357 m ²	確認日	2012年9月25日
延床面積	14,931 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ① 参照値
 ② 建築物の取組み
 ③ 上記①②以外のオンサイト手法
 ④ 上記① オフサイト手法

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 2.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合 地域環境についての配慮とともに、居住者の豊かな生活の実現を念頭においた計画を行った。		その他 特になし
Q1 室内環境 快適な生活に必要な音・光環境について配慮した。	Q2 サービス性能 バリアフリーについて配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地境界部分について重点的に緑化を行い、豊かな居住環境の形成に配慮した計画を行った。
LR1 エネルギー 特になし	LR2 資源・マテリアル 特になし	LR3 敷地外環境 敷地境界部分について重点的に緑化を行うことで、敷地外環境との調和を図った。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量の平均値
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■ LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

